



10月28日にけやき祭が開催されました。けやき祭は9月に実施された体育祭と並んでかわち学園のみんなで力を合わせて取り組む大きな学校行事です。体育祭では全校を赤団・白団の二つに分けて体育の観点から縦のつながりを育む目標があり、けやき祭は学年・学級に分かれて音楽や演技等に代表される表現活動の観点から横のつながりを育む目標があります。児童生徒は、まだ、校内に体育祭の余韻が残る10月上旬から練習を始めました。各学級から歌声や合奏のリズムが響き、その響きが日を追うごとにまとまっていくのが手に取るようにわかりました。どんなことでもみんなで力を合わせて「創り出す」ということは大変なことです。ときにぶつかり、ときに傷つき、その度に、なだめたり、話し合ったりしながら、「自分たちらしさ」を求めてがんばった1か月だったのではないかと思います。1年生から9年生まで通して鑑賞していただいた皆様には本校の児童生徒のその年々の成長を深く感じていただけたのではないのでしょうか。午後は、後期課程の学習発表や特技発表でした。学習した内容を自分たちなりにアレンジして、見応えのある内容になっていました。何より会場に一体感があり、ステージで発表している一人一人が仲間を信頼して自分らしさを発揮しているところ、ステージの仲間を見守る友達も心から温かい拍手を送っているところそれぞれに感動しました。この文化祭の成功のために実行委員会や生徒会本部の児童生徒も活躍しました。見に来てくださった地域の皆さんや保護者の皆さんに日頃の感謝の気持ちを伝えようとプレゼントの用意も生徒がボランティアで取り組みました。これからもさまざまな取組を通して、児童生徒が明日という近い未来を楽しみにできるよう、教職員一同取り組んで参ります。



～児童生徒の感想です！～



いままで、ひるやすみもけんぱんハーモニカをがんばった。「きりつ」のとき、きんちょうしたけど、がんばった。ながいじかん、よいしせいですとよくきいていた。「はるなつあきふゆ」をおおきくおどった。

1年生 児童

けやきさいでがんばったことは、「とんくるりんぱんくるりん」をがんばりました。大きなこえでうたいました。みんなうたをがんばってきれいなこえでした。

1年生 児童

今日、けやきさいで「山のポルカ」と「あの青い空のように」をうたいました。山のポルカの方でぼくはけんぱんハーモニカでえんそうして、おなかからいきを入れてふきました。あの青い空のようにの方もきれいな声でうたいました。口を大きくあけてうたったら体いくかんのおくの方まで聞こえる声でうたいました。さいご、大きく口をあけてあいさつをしました。また、けやきさいをやりたいです。

2年生 児童

今日、けやきさいでうたをうたいました。「山のポルカ」と「あの青い空のように」をうたうときに大きな口をあけてうたいました。うたうときに、大きな口をあけてうたうと、大きな声が出て、後ろまで聞こえたと思いました。

2年生 児童



とおくの人までとどくように、きれいな声や音色、まほうの音を友達と合わせてくふうしました。友達は大きな歌で、わたしもまねをしました。いろんな人がきていたのではじめはきんちょうしましたが、あとから楽しくなって、今年のけやき祭も楽しくできました。リコーダーの音色がきれいにうまくなりました。家の人たちにもきれいな音色がとどいたと思います。来年のけやき祭もがんばりたいと思います。

3年生 児童

わたしは、さいしょ、きんちょうしてどきどきしていました。けれども、リコーダーをふいたら、まったくまちがえませんでした。みんな歌もリコーダーもじょうずだったので、大せいこうでした。みんなの声を合わせていたのでますます大せいこうです。歌のとき、声がものすごくきれいでした。らい年もまたがんばりたいです。

3年生 児童



わたしが、けやき祭でうれしかったことは二つあります。一つ目は、リコーダーで1回もまちがえずにできたことです。理由は練習のときよりもまちがえが少なくなったからです。二つ目はお姉ちゃんがピアノをがんばっていたことです。理由は1回もまちがえずにひいていて（すごいなあ）と、思ったからです。なのでわたしもお姉ちゃんみたいになりたいです。来年もがんばりたいです。



4年生 児童

わたしは、10月28日にけやき祭をしました。曲は「ジッパデードウダ」で、わたしはカステネットをしました。さいしょはぜんぜんたたけなかったけれども先生や友だちがわかりやすく教えてくれて教科書を見ないでえんそうできるようになりました。低学年のえんそうが終わって自分たちのえんそうが始まるとききんちょうしたけれど、みんなで上手にえんそうできたと思います。来年のけやき祭が楽しみです。

4年生 児童

わたしがけやき祭を終えて思ったことは二つあります。一つ目はけやき祭で演奏した「アフリカンシンフォニー」がうまかったことです。みんなリズムが合っていて、すごくきれいでした。6年生になってもこのようにきれいな演奏をしたいです。二つ目は、自分がドレミをまちがえてしまったことです。あんなに練習したり、時間をとってもらったのに自分的になさけないと、ちょっと思いました。来年は、ドレミをまちがえないように演奏したいです。動画でも自分がドレミが少しちがうのがわかりました。わたしは、このようなことをけやき祭を終えて思いました。上の学年をおてほんにしていきたいと思いました。

5年生 児童

けやき祭を終えて感じたことはやっぱり「たっせい感」です。サッカーの試合に勝ったようにうれしく感じました。そのとき、ほくはこう思いました。（やったー！やりきった。少しとまどったところもあったけど全力を出せた！）みんなで協力してできたと思っています。つぎのけやき祭もこの調子でがんばりたいです。

5年生 児童



私がけやき祭で身に付けた力は二つあります。一つ目は合奏をするときに周りの音楽に合わせてたり、しっかり曲の速さやふんいきに合わせてたりすることです。二つ目はさまざまな音楽に興味をもつことです。私たちの学年の合奏が終わり、後期の合唱を聴いて、その曲の歌詞の意味を理解したり、（この曲はこういうことを言いたいんだなあ）と、考えながら聴くことによって歌にもっと興味もてました。私たちの学年は来年7年生になって後期生として出るから今年よりもっとがんばりたいです。

6年生 児童

私が今回のけやき祭で学んだことは、「中心で動く」ということへの責任です。なぜならけやき祭の実行委員を務め、午前の部の際に「司会」や「めぐり」などプログラムを運営する側に初めて入り、いつもとは違う学年やクラスではなく全校児童生徒が関係している中で運営ということは今までとは違ってとても新鮮でした。その中でも、前期生の最高学年でのけやき祭実行委員会ということを考え、責任感を改めて感じました。今回学んだことを前期生の最高学年として1～5年生のお手本になるような行動を心がけようと思います。

6年生 児童



私がけやき祭でがんばったことは二つあります。一つ目は、クラスの合唱です。練習を始めたばかりの頃は課題点も多かったのですが、練習を重ねるうちにどんどんよくなっていき、本番では練習の成果をしっかりと出すことができました。先輩達の合唱を聴いて感じたことは、音符の長さを大切にしているということです。二つ目は吹奏楽部の演奏です。私はあまりうまく吹けなかったのですが8年生がカバーしてくれたり、9年生がダンスで盛り上げてくれたりしてありがたかったです。今回のけやき祭で先輩の姿から学んだことを来年に生かしていきたいです。

7年生 生徒

私がけやき祭で感じたことは二つあります。一つ目は、クラス全員が同じ一つの目標に向かってがんばる姿はとてもキラキラ輝いていたということです。広い体育館の中でたくさんの方がいる中、ステージが一番かがやいていました。二つ目は、一人一人勝ちたいという強い気持ちをもって団結した7年2組は最強ということです。練習のとき、バラバラになったり人数も多いのでなかなかまとまらなかったりすることもありましたが、いつもいるんな先生に言っていただく「あなたたちはやればできるクラス」とは本当のことだと思います。

7年生 生徒

私はけやき祭の練習をして思ったことがあります。一つ目は合唱のときのクラスの団結力です。分からないところや上手くいかないところをお互いに伝えて解決するということがとてもよかったです。二つ目は劇です。初めての英語劇で発音がよく分からなかったり、感情をどうしたら相手に伝わるのかが分からなくてむずかしかったです。どのクラスもけやき祭の練習をがんばっていて、いろいろなクラスから聞こえる歌声がどれもきれいで他のクラスの聴いて学ぶことがあったりして、それがとてもよかったです。来年は今年よりもっと上手くなって最優秀賞をとりたいです。

8年生 生徒

私はけやき祭を終えて思い出にのこったことが二つあります。一つ目は合唱についてです。ピアノも音程もとてもむずかしい曲でしたが、1ヶ月間練習をしてクラスでもよい合唱をすることができました。二つ目は、学習・特技発表についてです。学習発表では自分たちの発表もおもしろいものができたと思います。9年生のメロスや理科の実験が見ていてとても楽しかったです。特技発表では9年生の先輩の新体操を見て、とても美しく感動しました。来年は自分たちの代なので、見る側ではなくやる側になって楽しんで、楽しませるようになりたいです。

8年生 生徒

けやき祭を終えて、私は今年度のスローガン「史上最響」を達成できたと思いました。9年生で最後のけやき祭、実行委員長としてさまざまな準備をし、当日も挨拶や結果発表などをやりきることができました。合唱では「必ず最優秀賞をとる」という思いで今まで以上に練習を積み、声が出ていないときは本当に焦りました。本番ならではの緊張感の中歌ったときも緊張でみんなの声がすごく小さく聞こえました。なので、自分にできることを全て出し切ろうと思い、ソロなども自分の最大限を発揮しました。午後の郷土検定や英語の発表、新体操はみんなによかったと言ってもらえて嬉しかったです。結果は「最優秀賞」で敦子先生にこの賞を見せられたことが本当によかったです。ここまでがんばってくれたみんな、そして苦戦しながらも決して諦めなかったアルトのみんなに「ありがとう」と言いたいです。

9年生 生徒



私はけやき祭を終えて心に残る思い出が沢山できました。私は今年で最後ということもあり、例年とは比にならないほどけやき祭に気合いが入っていました。絶対に最優秀賞をとりたくて、クラスみんなと沢山練習しました。最初アルトパートはなかなか声が出なくてとても焦っていたし、何より緊張に負けてしまうことが怖かったです。しかし、毎日のように歌い、工夫し、考えていくことでどんどんよりよい方向に進んでいきました。結果は惜しくも優秀賞でとても悔しい思いをしました。「あんなにがんばったのに・・・」と思ったけれど、私はその結果よりもここに辿り着くまでの過程に意味があると考えています。最初はパートごとで息が合わなかったのに毎日毎日一生懸命練習して本番を無事に成功させることができました。この「過程」こそがクラスの団結力をより深めるための鍵になったんじゃないかと思います。いろいろな行事を通してクラスが一つになっていくところを見て、私は心から嬉しく思いました。けやき祭が大成功でおわれて本当によかったです。

9年生 生徒

(文責 秋山 美穂)